

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年

事業所名 あおぞら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	物の収納	日中一時支援併設のため、日によっては圧迫感を感じることもある。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	多く配置している	職員が余裕を持てるように、人員を多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		2階へは階段のみのため、車いす利用の子が容易に上がれない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	毎日ミーティングしている	計画は立てられているが、振り返りが不十分。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		職員に周知し、保護者のニーズに沿った支援を提供している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	法人HPで公開	公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		外部評価を実施できていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		研修の機会が準備できなかった。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	支援計画の見直し	子ども、保護者に寄り添った内容になっている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	スケジュールボードを使用	視覚支援を用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	毎日ミーティングしている	チームで検討できている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		固定化しないように場所を変更したりしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	プログラムの作成	大まかな予定をたてている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		子どもに合った活動を計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	話し合いノートの利用	開始前に打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1		何かあれば終了後に報告するようにしている。終礼は実施できていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		第三者が読み取れる記載の仕方が必要。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		年2回の見直しをしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0		外遊びや創作遊びに取り組んでいる。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	管理者の参加	管理者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	学校との関係作り	引継ぎを密にしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	看護師の配置	取っている。指示書を依頼している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2		出来ていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	関係機関との連携	情報を伝えるようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	連携の強化	情報の共有に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		なかなか関わる機会がない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1		会議に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		連絡を密にしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	家族と情報共有	出来ていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	家族と情報共有	相談にのっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		設置していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		適切な保護者対応ができなかった。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	通信誌及び活動写真の配布	通信誌を発行している。
	35	個人情報に十分注意している	6	0		取り扱い注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		連絡帳や電話などにより状況のやりとりをしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		開放できていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		自然、人的災害の訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		虐待防止に取り組むため、複数の目で支援するようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		個別支援計画に記載し、やむを得ず拘束した場合にも記録を残すようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	事前アンケートの実施	現在アレルギー持ちの子はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0	様式の作成	未然に防ぐための資料として活用している。